

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時：平成25年9月26日（木）

2・3・4校時

場 所：大田市立第二中学校

対 象：全校生徒 266名

指導者：大田市立第二中学校教頭

島根県埋蔵文化財調査

センター職員2名

1. 主 題 大田二中校区の遺跡を知る ～最新の発掘調査より～

2. ねらい

○最近、発掘調査が行われた学校周辺の遺跡の説明を受けることで、歴史学習への興味や関心を高めるとともに、ふるさとに対する愛着の気持ちを育てる。

○実際に遺物に触れたり観察することで、当時の地域の生活にも思いを馳せ、現代社会を振り返る機会にする。

3. 展 開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	分担
3分	今日の学習の流れを確認しよう	・講師を紹介する。 ・学習の内容やねらいを説明する。	教員
45分	・二中周辺の遺跡について知る。 ・縄文時代の遺跡から、何がわかるのか。 ・弥生時代から古墳時代への移り変わりを知る。 ・奈良時代、平安時代の地域を知る。	・レジュメと映像資料を使って、二中周辺の遺跡の分布や地域的な特色について理解させる。 ・中尾H遺跡出土の縄文土器、線刻石、石斧などを提示し、縄文人の生活に迫る。 ・遺跡から出土した弥生土器、土師器、須恵器などから、土器の変遷を理解させる。生徒がイメージしやすいように配慮する。 ・市井深田遺跡の大規模集落跡、木簡、土馬などから地域の様子を考えさせる。	職員
2分	学習のまとめをしよう	・感想発表をする。（時間があれば） ・アンケートに答える。	教員

※準備する物

（学校・生徒） 筆記用具・プロジェクターなど

（埋文センター） 学習の資料・PC・パワーポイント・データ（USB）

遺物 デジカメ（記録用）